

Christoph Moser クリストフ・モーザー



クリストフ・モーザーは、2013年よりウィーン・トーンクンストラー管弦楽団で第1クラリネット奏者を務め、2017年よりウィーン国立音楽大学にてクラリネットの指導にあたる。1982年フェクラブルック生まれ。8歳よりクラリネットを始め、アントンブルックナー私立音楽大学およびヨハン・ヒンドラー氏のもとウィーン国立音楽大学で学ぶ。また、ウィーン国立音楽大学でジャズを学んだことが、彼のクラリネットのスキルを向上につながった。学生時代に数々の賞を受賞し、2009年にヘッセン州立劇場でプロとしてのキャリアをスタートさせ、ケルン・ギェルツェニヒ管弦楽団や2011年にコトウブス国立劇場に入団した。首席奏者そしてE♭とDクラリネットのスペシャリストとして、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団やウィーン国立歌劇場、NDR エルプフィルハーモニー管弦楽団、シュターツカペレ・ドレスデン、ウィーン放送交響楽団、モーツアルテウム管弦楽団等と定期的に協演。クリストフ・モーザーは、モーツアルトやウェーバー、モルターのクラリネット協奏曲や彼の室内楽アンサンブル「Soundartists」でツアーするなど、ソリストや室内楽奏者としても精力的に活動している。国際コンクールやオーディションで審査員を務める他、定期的にマスタークラスを開催。佐渡裕が首席指揮者を務めるウィーン・トーンクンストラー管弦楽団と共に日本に来日している。